

全線開通から90年を経た飯山線

栄小学校 宇佐美 昌博

1 はじめに

日本有数の豪雪地帯である長野・新潟県境をつなぐ飯山線は、長野県長野市の豊野駅から、新潟県長岡市の越後川口駅に至る東日本旅客鉄道(JR東日本)の地方交通線である。1929年9月1日、越後田中～十日町区間が延伸開業され、全線開通した。

全線単線、非電化で、総延長は96.7km。31の駅があり、駅間距離の平均は、3.2kmで、最短は、飯山～北飯山1.3km、最長は、替佐～蓮5.8kmである。

国鉄が民営化されるまでは、貨物の取り扱いも有り、有人の駅が多く存在したが、現在は、ほとんどが無人駅である。栄村にある信濃白鳥、平滝、横倉、森宮野原の4つの駅は、全て簡易委託駅となっており、日中は有人である。なぜ、栄村の駅は委託され有人なのか、調べてみることにした。

2 概況

栄村4駅を運行するダイヤは、1日に上下それぞれ8本。森宮野原駅に到着する最終列車は、長野方面から22時10分、十日町方面から22時20分である。当駅にはJRの運転手宿泊施設があり、始発列車は、上下線共に森宮野原発で運行される。1日平均の乗車人数から考えると、各駅からの乗車がない列車も相当数あることが推測される。

長野駅から飯山駅までは上下15本あり、戸狩野沢温泉までは上下13本になる。また、十日町から越後川口間を運行するダイヤは上下それぞれ10本である(長岡終着を含む)。

栄村の4駅は、すべて業務が委託された駅となっている。委託の開始は35年以上前のことで、その時から栄村が人的費用を負担している。1995年には、森宮野原駅が完全無人化され委託駅となった。2004年の駅舎建て替え時には、複合施設として機能できるようにしており、栄村が管理している。各駅には、POS端末が導入されており切符の発券業務が可能である。



国土地理院地図を利用して作成



複合施設として利用されている森宮野原駅

3 利用者の減少

最新(2019年度)の1日平均の乗車人数を見ると、栄村4駅の利用者が非常に少ないことが分かる。資料でさかのぼることのできる2000年度からの1日平均乗車人数(合計)は、年々減少傾向にあるが、特に、平滝(24人→2人)は12分の1、横倉(44人→10人)は約4分の1、信濃白鳥(27人→10人)、森宮野原(76人→28人)、戸狩野沢温泉(443人→141人)は約3分の1と減少の比率が大きく、いかに飯山線が利用されなくなってきたかが分かる。通学利用の減少が直結しているのではないだろうか。

最新と2000年度との比較で、飯山駅だけは増加しているが、北陸新幹線の金沢延伸(2015年3月)の影響と考えられる。飯山駅の1日平均乗車人数は、2014年度(588人)、2015年度(1012人)であった。

駅名	2000年度	2005年度	2010年度	2015年度	2019年度
長野	23266	21894	20960	21168	20401
長野(新幹線)	6380(2012年度)			7738	7420
飯山	723	636	572	1012	961
飯山(新幹線)	2015年開業			504	531
戸狩野沢温泉	443	350	299	185	141
信濃白鳥	27	20	7	10	10
平滝	24	22	13	8	2
横倉	44	40	16	18	10
森宮野原	76	70	83	43	28
十日町	533	502	591	530	481
越後川口	284	199	189	208	171

各駅の1日平均の乗車人数 2000, 2005, 2010, 2015, 2019年度 (JR東日本公表) より作成。

一日平均の乗車人数の変化(人)

4 横倉駅で委託を受けている方のお話から

栄小学校最寄りの横倉地区にある横倉駅は、駅前の床屋さんさんが業務を委託されている。乗り物遠足では、子どもたち一人一人に切符を販売していただいている。この委託業務を36年もなさっておられるそうだ。JR全線の切符発券は可能だが、委託契約で飯山線に限って発券しているそうだ。



横倉駅(2019/4 乗り物遠足にて)

お話をうかがう中で、飯山線開通時に、横倉区が用地を提供して駅を設置してもらったという経緯があったこと、

駅ができると思っていた平滝の人たちは特に何も行動しなかったので駅ができず、後から用地を提供して設置してもらった経緯を知った。また、50年前の横倉駅には、4名の国鉄職員が常勤されており、その官舎が駅の西側の敷地のはずれにあったこと、貨物取扱いのため線路が4線あったこと、現在の線路南側には、合板工場があって引き込み線もあったことがわかった。

20年程前まで、駅の近くに桐下駄工場があったが、合板工場があったことを知り驚いた。横倉駅周辺には、妙に空き地があることを感じていたが、その理由が分かった。

5 おわりに

栄村では、公共交通機関確保を栄村役場民生課が担当している。駅の業務委託以外にもデマンドタクシー、デマンドバスなども運営する。公共交通機関の縮小が全国的な流れだが、村の存続も含め、児童にとって身近な課題として捉えられるように教材化をはかっていくことも考えていきたい。